



# 寄宿舎便り

令和7年3月7日発行



「美利河寮から社会へ」  
～イチローさんに学ぶ～

校長 飯出 広行

厳しい冬の時期を越え、春の息吹を感じるころとなりました。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また、卒業生の保護者の皆様、我が子の成長された姿に感慨もひとしおのことと拝察いたします。

15歳の春、我が子の将来のため、自立のためと思い、寄宿舎への入舎を決意されるに至り、様々な思いがあったこととお察しいたします。御不安や御心配はもちろん、学校・寄宿舎への御期待があったことと思います。学校・寄宿舎はその思いを受け止め、保護者の皆様に少しでも入舎して良かったと思ってもらえるよう職員一同努めてまいりました。帰省のたびに、たくましくなっていく我が子をお見せすることはできたでしょうか。

寄宿舎生活は、家庭的な雰囲気大切にしながら、生徒一人一人が安心して生活できる環境のもと、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、集団生活を通してコミュニケーション能力や豊かな心情、規範意識、行動力等々の育成を図ります。

先日、アメリカのメジャーリーグで活躍したイチローさんが、日本人で初めてアメリカ野球殿堂入りを果たしたニュースがありました。イチローさんは、そのインタビューの中で、「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」と述べています。小さな努力を継続することが最終的に大きな成功につながることを意味します。寄宿舎生活は、小さなことの積み重ねです。日常の小さな努力を必要とします。その積み重ねが大きな成功である「自立・自律」につながるのです。

2・3年生の、1年生を優しくサポートしている姿、先輩としての自覚と集団生活のリーダーとしての様々な場面での自発的な行動、寄宿舎生活をより良いものにしようと、また余暇の充実のために、アイデアや考えを出す行動、舎の行事等での舎友会執行部や実行委員として企画運営をする姿等々、小さなことを積み上げてきました。さあ、3年生の皆さん、社会に旅立ち、大きな成功を得てほしいと思います。その礎は、この寄宿舎生活でできました。

結びになりますが、保護者の皆様、この一年間、寄宿舎の教育と運営に御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。引き続き、安全安心な寄宿舎運営のもと、寄宿舎教育の充実及び発展に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 寄宿舎生活を振り返って

彼氏とHさんとO先生と行ったカラオケが楽しかったです。

そしてテオーで彼氏とプリクラを撮ったりして、楽しかったです。女子棟の行事では、みんなでマックのハンバーガーを食べたり、ポテトを食べたりして楽しかったです。また、甘いやつを食べたのが良かったです。また、冬フェスや夏フェスも彼氏と一緒に甘い物を食べたり、しょっぱい物を食べたりして楽しかったです。

最後にカメラマンに2人の写真撮ってもらいました。良い思い出になりました。

SさんとMさんとO先生と一緒に食事やカラオケに行って楽しかったです。

女子棟の行事でジンギスカンを食べに行き美味しかったです。夏フェスは、M君と一緒に歩いて射的でモンスターをいっぱいとれたことです。部屋でAさんとTさんと一緒に妖怪ウオッチのバスターズのゲームをしてとても楽しかったです。

寄宿舎生活で思い出に残ったことは、K先輩と一緒にアニメキャラクターのお話をしたことです。特に名前や種類について沢山教えていただいたことです。他では小説についてお話をしたことです。キャラクターのイラストなどについてお話をすることができたことです。思い出に残すことができたので良かったです。

1階の部屋会で色々な食べ物を食べたことが思い出です。外出で「君ちゃん」の焼肉を食べたことが思い出です。「田なか」に行って、ご飯を食べたことが思い出です。冬フェスと夏フェスで色々食べたり、飲んだり、色々な物を買ったり、光る物を買ったりしたのが一番の思い出です。冬フェス、夏フェスは楽しかったです。

僕は今までずっと寄宿舎生活が楽しかったです。2階では雑誌を見ながら、これまで面白かったです。自分の部屋では、絵を描いたりゲームをやりました。朝も夜もやっていました。M君とうっかり話し合ったりしていました。

最初のころは学校を「やめたいな」と思っていました。先生たちや先輩方のおかげで、楽しくなかった生活が楽しい場所になったり、居心地が良くなっていったと思います。また、今は楽しく行えているフェスの実行委員も、最初は無理やりつれてこられ、右も左もわからない状態で指示を受け、とにかくがむしゃらに行っていましたが、今では指示する側になり、自分の中で成長を感じました。毎日同室の友達と「おやすみ」「おはよう」と挨拶をする、そんな日課に幸せを感じられるほど、一年生の頃の自分より大人になれたと思います。

# 最高の思い出をありがとう

夏フェスと冬フェスでさまざまなゲームをやったことと、さまざまな料理やスイーツを食べたことが楽しかったです。

買い物や外食に行ったのが一番楽しかったです。それからテレビを見たのが楽しかったです。フェスはもう少し食べ物を食べられると良かったです。

夏フェスや冬フェスをはじめ、色々な行事があって楽しかったです。

3年間過ごしたなかでの思い出は男子棟全員で「君ちゃん」に行けたことです。理由は、初めて行ったからです。ジンギスカンが美味しかったです。沢山食べることができ良かったです。

RとAちゃんとSと私でファミリアを食べたことです。T先輩とY先輩と私で外食会をしたことです。去年の3年生最後の日に楽しく過ごせたことです。今年に食べた手羽先ぎょうざが、とても美味しかったです。次に食べるのが楽しみです。

## 【編集後記】

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。学校も食事もお風呂も寝る時も24時間一緒に過ごした寄宿舎生活。楽しいことも多いですが、時には人間関係が煩わしく感じることもあったことでしょう。色々な思いを抱え、乗り越えた貴重な3年間。この寄宿舎生活の中で身につけた、相手を思いやり上手に折り合いをつけ、お互い気持ちよく過ごせるコミュニケーションの力は、社会に出てから必ず役立つことと思います。

そして一緒に成長できた仲間との出会いは、かけがえのない宝物です。困難に直面したとき味方になってくれる仲間をこれからも大切にしてください。

保護者の皆様には、これまで寄宿舎生活を支え、励まし続けて下さったことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。